

平成30年度10月編入学大学院人文科学府博士後期課程入学試験問題
(日 本 語)

解答は、解答用紙に書くこと。その際、「問1-1」などと記し、どの問いに対する解答かを明示すること。

問1. 次の文章を読んで、後の問いに日本語で答えなさい。

著作権保護のため、この Web 公開版では問題文を削除した。
引用箇所は以下のとおりである。

杉本明子 (2004). 「暮らしに生きることば: 問題解決のコミュニケーション」国語研広報誌『国語研の窓』, 19, 1.

問 1-1 下線部 (A)-(E)のよみかたをひらがなで書きなさい。(10 点)

問 1-2 次の表現の意味を簡単に説明しなさい。(10 点)

- (a) 葛藤
- (b) 双方

問 1-3 (1)~(3)のそれぞれに入る表現を a~c から選び、解答用紙に記入しなさい。

- (1) a. 非難 b. 衝突 c. やりとり
- (2) a. なら b. ので c. と
- (3) a. 忖度 b. 優先 c. 修復

(15 点)

問 1-4 []には同じ語句が入る。本文の趣旨に照らして[]に入る表現として適切なものを選びなさい。

(5 点)

- ①発達
- ②助言
- ③コミュニケーション

問 1-5 本文の趣旨に照らして(ア)に入る表現として適切なものを選びなさい。

(10 点)

- ①相手の意思の尊重
- ②自分と相手の利益
- ③自分の要求と他者の要求の対立

問 1-6 本文の趣旨に照らして(イ)に入る表現として適切なものを選びなさい。

(10 点)

- ①相手の意思
- ②自分と他者の両方の利益
- ③自分の要求と他者の要求の対立

問 2. あなたが今、面識のない他大学の先生にメールを出して、その先生が発表した、入手困難な発表資料を電子ファイルで入手できないか考えているとします。その先生にメールを出すとしたら、どのような文面にするか、書きなさい。

(40 点)